

特別企画 コロナ禍で変わった？進んだ！

～コロナに負けるな！新生活様式を取り入れていこう！～

新型コロナウイルスの影響で、仕事も生活も大きく様変わりしました。(公財)ふくい女性財団では、感染症防止対策を講じながらも、できるだけこれまで通りの事業展開を図るために、オンラインで様々な試みを始めています。

今回は、「県内企業のテレワークの動向」と「オンラインを使った財団の活動」を紹介します。

福井県内のテレワークの動向

働き方改革でテレワークの導入を先進的に試みていた、福井キャノン事務機(株)の松本千恵さん(県グッドジョブ女性表彰受賞)にお話を伺いました。



新型コロナ感染拡大により「テレワーク」が急速に進んだというのは周知の事かと思います。県内では、大企業ほど導入が進んでいるように思いますが、中小企業では「従来の仕事の進め方から抜けきれない」といった声が多く、「テレワーク」の導入率はまだまだ低いのが現状です。パソコンを操作して何かをするといったお仕事であれば、段階的に「テレワーク」に移行することは可能ですが、ただ、そのためには、仕事の棚卸が必要で、すぐに移行できるものではありません。ITの環境を整える他にも、社内の就業環境や制度を見直していく必要があります。「FAXでの業務が多い」「台帳を見ながらの業務がある」等、「紙文書」から「電子化(ペーパーレス)」にシフトすることが解決のキーとなります。

コロナ禍になってから「テレワーク」が急に取りあげられましたが、平成30年に成立した「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が、きっかけでもあることはご存知でしょうか？少子高齢化のなかで、一億総活躍社会を目指すには、女性の活躍なくしては実現しません。女性が特に家庭で負担を担う育児や介護について、何とか両立しながら働いてもらうためには、新たな働き方

が「会社から離れた場所で(tele)働く(work)」が必要だとされ、政府の働き方改革に組み入れられました。

当社では、生産性を高めるため新たな制度づくりに積極的に取り組んでいます。働き方改革が上げられる前の約15年前から、システム開発(SE)の女性が、子育てと介護との両立のために在宅ワークを希望したことから始まったのですが、実際、子育てと介護と両立しながらの在宅ワークは、「通勤時間の削減から、時間が有効的に活用できるようになった」「集中して業務ができるため、生産性が向上した」という効果をもたらしました。こうした事例もあり、営業・サービス職でもモバイル端末を持ち、社外や自宅でも仕事ができるような環境を構築し、「モバイルワーク」を推進してまいりました。そのため、コロナ禍になり「テレワーク」へ抵抗なく切り替えることもできました。さらに、自社での取り組みをもとに、ソリューション企業としてお客様に提案しております。私もテレワークを活用し、会社へ戻ることなく、近くのカフェでパソコンを広げ会社のシステムに入力し作業を完了するなどし、お客さまへのレスポンス向上につながる「新たな働き方」を実践しています。

かがやく女性

第49号

発行者
(公財)ふくい女性財団
〒918-8135
福井市下六条町14-1
ユー・アイふくい
(福井県生活学習館2階)

(公財)ふくい女性財団の取り組み

ZOOMを使ったオンライン会議体験セミナー (指導者養成講座)

会場内に模擬オンライン会議の場を設定し、会議の招待メールからオンラインの会議の場に入場し、画面上で会議に参加していただきました。自分だけでなく他の人の行程を会場内で共有することと、講師の(株)カウベル・コーポレーション 森川徹志氏から、オンライン会議の概要を現状に沿って説明を受けました。

参加者からは、「実際にパソコンを使っただけで体験で分かりやすかった」「オンライン会議について分かりやすい説明で『ZOOM』の意味を理解した」「実際にオンラインで会議してみたい」などの声があり、今後も続く新型コロナウイルスの影響下においても、前に進んでいく意識を持たれたようです。



オンライン相談の実施

ZOOMを利用したオンラインによる『女性キャリア相談』『就職相談・職業紹介』『保育所・子育て相談』等の対面相談も実施しています(要予約・1回45分程度)

ソーシャルメディアの充実

幅広い年代に女性財団をPRするSNS(ソーシャルメディア)ツールとして、これまでのFacebookに加え、TwitterとYouTubeの公式アカウントを開設しました。



Twitter



YouTube



企業における女性活躍推進コース

管理職のための女性人材育成セミナー

現場の「上司力」を身に付ける！ 女性部下マネジメントセミナー

株式会社Woomax 代表取締役 竹之内 幸子 氏

組織の多様性の必要性、価値観の違う相手との対話方法、女性部下の成長につながる関わり方等について学習しました。グループワークでは、自分と他者の価値観の違いを実感し、部下の話を聴き、成長へと導く上司役を体験しました。



企業における女性活躍推進コース

キャリア・アカデミー

リーダーの才能に目覚めよう！ 自分の強みを活かして私らしいリーダーになる！ ～可能性を解き放つ！ストレングスリーダーシップ～

Coach A.M 代表 杉嶋 奈津子 氏

自分らしいリーダーシップスタイルを構築することを目的に、資質分析ツール「ストレングス・ファインダー®」の受検結果を元に、自己理解と他者理解を学習しました。グループワークでは、資質の違いを理解し、自分の強み（資質）をリーダーシップにどう活かせるか、またリーダーに何が必要かを明確にしました。



働く女性のキャリアアップ応援コース

キャリアアップ応援講座

印象が変わる！ビジネスマナー 仕事で信頼される“笑顔のおもてなし”

マナーコンサルティングことは理 榎谷 真澄 氏

マナーは、人を思う気持ち、優しさであり、またビジネスマナーは、①挨拶 ②身だしなみ ③表情 ④言葉遣い ⑤態度の五大要素から成り立っていることを学習しました。「電話美人の13か条」「声の演出」「心をつかむ話法」を学び、実際に受講者の電話応対を録音して、それぞれの長所・短所を確認しました。



男女パートナーシップ推進コース

指導者養成講座

アンコンシャスバイアス(無意識の思いこみ)は未来を変える！ ～SDGsゴール達成との関係を知ろう～

株式会社リソースフル 代表取締役 中田 明子 氏

意識の偏見・先入観・思いこみは、生存本能として持つ思考の近道で誰にでもあるものであり、自分を守るために未知と違うものを警戒し、現状維持・効率重視の判断をするものであるとのこと。逆にポジティブに考えれば、無意識の思考パターンが無意識の行動へ影響するので、多様性や変化することを拒絶・否定せず前向きにとらえることで、未来を明るくすることができるということです！

また、SDGsにも、アンコンシャスバイアスをうまく利用することで、自分のゴールを設定し行動していくことを各自考えました。



新米パパママ応援講座

新米パパママ応援講座パート1 楽しく備える子連れ防災！ もしもの災害につよい家族になろう

育ちのクリニック津田 院長 **津田 英夫** 氏
危機管理アドバイザー／防災士 **飛田 幸平** 氏

前半の講義では、症状別にすぐに病院に行くべき場合の見分け方や災害時の対応などを学びました。後半の講義では、防災の基礎知識のクイズのほか、0-2才対象の回では液体ミルク等の試飲、3-6才対象の回ではゴミ袋で作れる雨合羽づくりを行いました。災害時に夫婦で協力し子どもを守ることへの理解が深められました。



カップル応援講座

今こそ、夫婦をアップデート！ 心地よい暮らしをふたりでつくる術＋夫婦 で学ぶ、野菜の魅力・活用術

マナーコンサルティングことは理 **榎谷 真澄** 氏
野菜ソムリエプロ／防災士 **中島 早苗** 氏

前半の講義では、夫婦は「思いやり」を基本としながら「ユーモアを忘れない！クスッと笑えたら穏やかに過ごせる」などの10項目を皆で共有。後半の講義では、コロナ禍に役立つ免疫力アップのレシピや防災食について学び、夫婦の協力に理解を深めました。



(公財) ふくい女性財団 令和2年度 役員紹介

職 名	氏 名	現 職 名
理 事 長	田村 洋子	福井県連合婦人会長
副理事長	進藤 久美子	(株)ネスティ専務取締役
	西 芳子	福井県商工会女性部連合会長
理 事	前田 洋一	福井県地域戦略部長
	◇穴吹 好子	福井県生活学習館長
	小川 喜久子	J A 福井県女性組織協議会長
	吉川 春美	福井県婦人福祉協議会長
	杉本 桂子	前福井県生活学校連絡協議会長
	林田 とよ子	前(一社)ガールスカウト福井県連盟長
	斎藤 美穂子	勝山市男女共同ネットワーク会長
	千田 要子	前わかさ元気町づくりネットワーク会長
	三田 英男	北陸電力(株)福井支店総務部長
	田中 香苗	ふくい女性ネットNEXT(西武福井店総務部長)
	出蔵 加津代	元福井県生活学習館長
	江端 美喜子	(公財)ふくい女性財団事務局長
専務理事	川崎 周市	元(一財)福井県労働者信用基金協会専務理事
	齋藤 啓子	元(公財)ふくい女性財団副理事長 さばえ男女共同参画ネットワーク会長
監 事	◇伊与 登志雄	(株)福井新聞社 論説主幹
	江守 直美	(公社)福井県看護協会会長
評 議 員	◇川岸 道子	ラニイ福井貨物(株)総務グループ AEO 総括室／5S・フィロソフィ推進室長
	小林 順子	小林化工(株)取締役副社長執行役員
	澤崎 祥也	日華化学(株)取締役執行役員 管理部門長
	◇長谷川 美香	(大)福井大学医学部 看護学科 コミュニティ看護学 教授
	三好 勝	(税)三好会計 代表社員税理士
		◇ 新しく就任された方

今後の開講予定講座

※詳細は決まり次第ホームページ等でお知らせします。

10/14,15 キャリア・アカデミー

チームで求められるリーダー像とリーダーに必要なスキル、信頼関係を築き、部下の能力を引き出すコミュニケーションを学びます。

10/17 新米パパママ応援講座パート2

テーマはこどもの睡眠と育児！睡眠に関する講義と各分野の専門家が、各自のお悩みにアドバイスします。

10/20~22 女性のための就職面接会

来年4月の採用にも対応し、「働きたい」女性と求人事業所とのマッチングを行います。

11/8 ふくいきらめきフェスティバル2020

式典と浜田敬子氏の記念講演会を開催(高松コミュニティセンター)。また、この様子を県内2箇所のサテライト会場へライブ配信します。各会場では別途お楽しみ企画もあります。

11/13 管理職のための女性人材育成セミナー

「部下の子育て・介護」と「仕事」の両立支援マネジメントについて学びます。



左：増田とし子さん 右：松田多佳子さん
2018年8月会社設立。
コロナ禍で日々新事業を模索中。

バスガイドをめざしたきつかけ

・バス会社ドライバー・O.B.の父からバスガイド募集のことを聞き、興味を持ちました。待遇や働いている先輩たちの仲まいがとても魅力的でこの仕事を選びました。(増田さん)

・高校の就職先を検討する過程で旅行の仕事を知り、その中でもお客さまと直接に接するバスガイドがとても魅力的だと思い、この仕事を始めました。(松田さん)

会社を立ち上げたきつかけ

2000年の規制緩和後、バスガイドなしで運航するバス旅行が増加し、福井県で、正社員として新卒などの若手を養成するバス

会社もなくなり、なり手が減少してしまいました。今もバスガイド利用の需要はありますが、実際は平均年齢が高く、このままではバスガイドがいなくなってしまう危機感から、子育てが一段落した松田さんとバスガイド養成の組織を作ろうと決意しました。組織や運営の形態を模索する中で、その後、県内のバス会社のご協力をいただく形で、2018年に会社を設立。同じ年の10月に、新人バスガイドを受け入れることができました。(増田さん)

仕事内容と新型コロナウイルスの影響

私達の仕事は、季節で仕事内容が異なります。春・秋は修学旅行が集中し、シーズンオフの冬は新人バスガイドが、各地の名所などの知識を学んだ成果を披露するイベントを企画運営し、次のシーズンで活かしていくサイクルができつつあります。このイベントは、新人さんの練習の場となっており、同時に、旅行が厳しい高齢者のところへ赴いて、名所案内をすることが新事業の柱になりつつあります。

現在、新型コロナウイルスの影響でシーズンオフの状態が続いていますが、同時進行で、バスガイド教本の制作に取り組んでいます。かつて、全国各地のバス案内教本専門の出版社がありました。現在ではなくなってしまうガイドや、他県のバスガイドにも

役立ててもらえたらと思い、自分たちで、新人ガイドの研修範囲に沿った教本を制作しています。ある程度形になりましたが、まだまだ途中段階です。(松田さん)

これからの目標

バスガイドの経験を活かして、自分たちができることはないかを模索しています。また、いろいろな企業様とタイアップして、オンラインで福井県をエリアごとに紹介する小規模のオンラインイベントを開催し、閑散期の仕事としてつなげていけたらと考えています。(松田さん)

福井の女性に伝えたいこと

・できると信じて動いていると、何事もできるようになる。できる方向に向いていると思っていると、いい風が吹いて思い描いていたことも実現する時がくると思っています。(増田さん)

・あきらめないこと。悩みながらも前を向いて、できないこともできると信じていくときとできると思っています。(松田さん)

※それまでの観光バスは、バスガイドと運転手がセットでのバス料金の設定がされていたが、2000年の法律改正で、バス料金とバスガイドの手数料が別になった。



いま輝いています

加盟団体紹介

南越前町男女ネットワーク

主な活動や方針について

南越前町男女ネットワークは、平成17年5月18日に設立され、現在12団体(2団体休会)が加盟し、お互いの活動を尊重しながら連携し、明るいまちづくりに貢献するとともに、豊かな男女共同参画社会の形成を推進することを目的に活動しています。

主な活動として、町内外における学習、研修会、人と人との出会いを楽しむ団体交流会、男女が共に参画できる講座や講演会を開催しています。

これからの抱負とメッセージ

ネットワークの設立時に比べ、加盟団体が減少しています。少子高齢化時代、男女共同参画社会への啓発と推進を図ることで、新たなグループ団体の加入を期待し、組織の輪が広がっていくことを願っています。

また、地域に男女共同参画社会が無理なく浸透していくように、情報収集や情報発信に努め、ネットワークの一層の連携や絆を深めていきたいと思っています。



ふくいきらめきフェスティバル 2020

11月8日(日)

13:00～

メイン会場

高棕コミュニティセンター(坂井市)

サテライト会場

響陽会館(鯖江市)・パレア若狭(若狭町)

詳細は(公財)ふくい女性財団ホームページ、SNSをご覧ください。
みなさまのご参加を心よりお待ちしております。